

Notes標準機能・アプリケーション稼働環境をSaaSで提供する
情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Edition





Notes標準機能・アプリケーション稼働環境を SaaSで提供する「情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Edition」

ITコストの最適化と事業継続性の向上を両立させる手段としてクラウドサービスへのニーズが高まっています。しかし自社環境でコラボレーション・プラットフォーム^{ロータスノーツ} [Lotus Notes/Domino] を利用している企業では、クラウド環境で独自のNotesアプリケーションを継続利用するのが困難なことから、パブリッククラウドへの移行をためらうケースが少なくありません。そこで日立は、日立クラウドソリューション^{ハーモニアス} [Harmonious Cloud] のSaaSメニュー「情報共有基盤サービス」のラインアップに、Lotus Notes/Dominoの標準機能から、お客さま独自のNotesアプリケーションの稼働環境までを一括提供する「情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Edition」を追加。クラウド移行による運用負担の軽減と、堅ろうなデータセンターでの運用による事業継続性の強化を支援いたします。

Q. 「Lotus Notes/Domino」を最新環境で使い続けたいのですが、サーバの運用管理やNotesアプリケーションにかかる負担が大きく、今後どのように運用していけばいいのか悩んでいます。

A. 国内外で高いシェアを持つLotus Notes/Dominoをお使いのお客さまは、通常のグループウェア機能だけでなく、独自のアプリケーションを開発したり、多様な文書を管理するなど、各企業に最適化された環境を構築しています。このため、標準機能に限定されたパブリッククラウドへの移行が難しく、システム管理部門は煩雑な運用管理とシステムの保守、維持コストの負担などに悩まされています。そこでお勧めしたいのが、日立の「情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Edition」です。

本サービスは日立の堅ろうなHarmonious Cloudセンタ(データセンター)内に、お客さま専用のクラウド環境を用意し、Lotus Notes/Domino 最新版*の標準機能と、お客さま独自のNotesアプリケーション環境をSaaS型サービスとして一括提供するものです(図1)。

日立グループは、IBMとの長年にわたる技術協力で培ったLotus Notes/Dominoのシステム構築力と、大規模ユーザーへのサーバ統合やマイグレーション作業における数多くの実績があ

ります。この実績で得た技術とノウハウをベースに、お客さまのLotus Notes/Domino環境をクラウド環境へスピーディに移行し、安定稼働させます。Lotus Notes/Dominoに関する定常的な運用管理業務をサービスとして提供することで、お客さまの運用負担を大幅に軽減し、コア業務への集中と注力を支援。情報システム部門の方々は、これまで以上に戦略的なミッションへとシフトされ、業務プロセスの再構築、インフラの標準化といった、改善業務に注力いただけます。

さらに、定期的なハードウェアの入れ替え費用や、ユーザー数が増加した場合の追加投資の不安も解消し、使い慣れた環境を適切なコストで継続的にご利用いただけます。

* ご提供バージョンは8.5.2となります(2011年9月現在)

Q. 自社で運用しているLotus Notes/Domino環境をクラウド環境へ移行することで問題は生じませんか。独自のNotesアプリケーションが新しいLotus Notes/Domino環境で稼働するかどうか心配です。

A. 情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Editionでは、標準化された導入手法と、お客さまの規模や用途に応じたサービスメニューの提供により、クラウド環境への迅速な移行と高信頼な立ち上げを支援します。

例えば、環境構築時の「初期導入サービス」では、標準仕様、クラスタ構成の高信頼仕様の2タイプからシステム構成をお選びいただき、必要に応じてデータ移行、バージョンアップ対応などのオプションサービスを組み合わせさせていただくだけです。あとは豊富なマイグレーション実績を持つ日立の専門技術者が、お客さま要件に合わせた

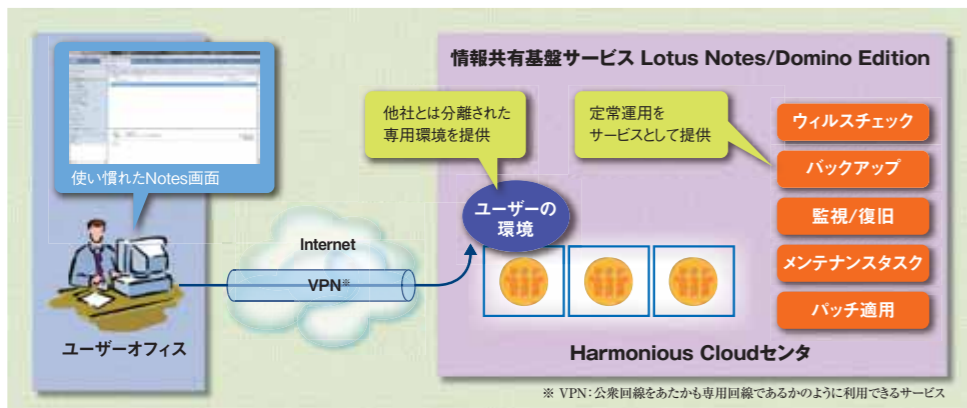


図1 情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Edition のサービスイメージ

環境移行をスピーディかつ高信頼に実行し、お客さま側の開発工数を最小限にとどめます。

Lotus Notes/Domino最新版へのマイグレーションにより、作り込まれたデータベースの継続利用と新機能の活用が可能となります。また、お客さま専用の仮想環境を用意するため、独自のNotesアプリケーションがそのままご利用いただけるほか、新たなアプリケーション開発も可能となります。使われていないNotesアプリケーションの棚卸しや、最新版での動作確認、ご要望に応じた各種カスタマイズなど、トータルに支援し、既存資産とノウハウを最大限に生かしたクラウドへの移行をサポートします(図2)。

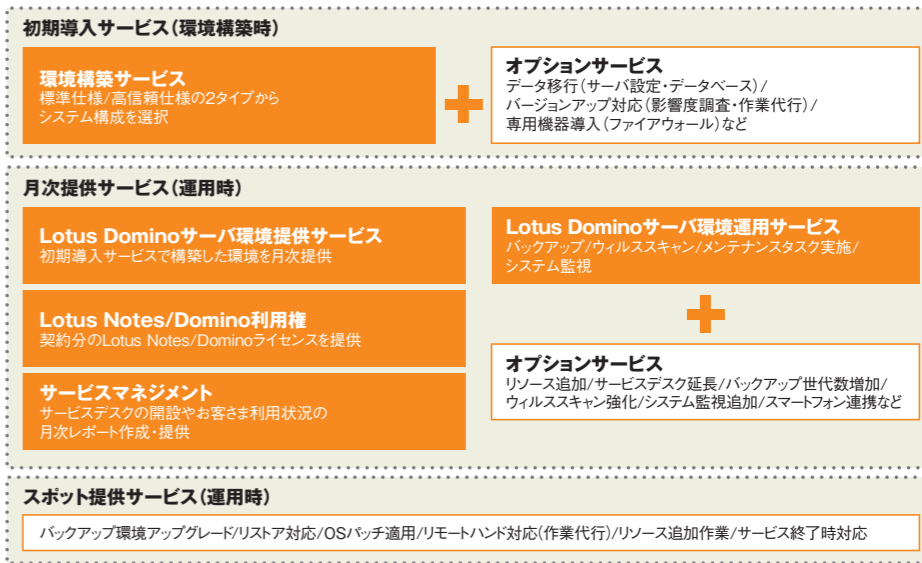


図2 サービスメニュー

Q. どのようにしてシステム安定性を確保するのですか。また運用開始後も、システムの最適化に向けた環境の再構築などを図ることは可能でしょうか。

A. お客さま環境をお預かりするHarmonious Cloudセンタでは、ハードウェア/仮想化基盤レイヤーでの冗長化(二重化)を特長とする性能設計と、日立独自のLotus Dominoプロセスを監視するツールを活用し、システム安定性を確保しています。また、Lotus Notes運用で豊富な経験を持つ専門技術者が運用サポートを担当し、トータルでの高信頼サービスを実現します。

柔軟なリソース追加への対応もクラウドならではのメリットです。お客さまのビジネスステージや業務ピーク時期に合わせ、必要となる各種リソース(CPU、ディスク容量、契約Notes ID数など)を柔軟に追加できるため、インシャルコストの抑止につながります。

さらに、月次提供サービスの大きな特長としてあげられるのが、毎月のLotus Dominoデータベースの状況をわかりやすく集計してお届けする「月次レポート」の提供です。標準で提供さ

れる本サービスにより、現状のデータベースの重要度や問題点を明確にし、効率的な棚卸しと整理、タイムリーなシステム増強などを提言。お客さまのシステムの継続的な最適化をサポートします(図3)。

Q. Lotus Notes/Dominoが事業運営に欠かせないツールとなっているため、災害時のデータ喪失やサーバ停止のリスク回避が喫緊の課題となっています。情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Editionは、こうした事業継続に対する要件も満たせるサービスと考えていいのでしょうか。

A. ご安心ください。本サービスは、大規模地震に耐えうる堅ろうなインフラ設備を持ち、厳格なセキュリティ対策を施したHarmonious Cloudセンタにて提供されます。また本センタにはシステムを無停止で稼働されるための自家発電設備、無停電電源設備(UPS)なども備えています。

このサービス基盤上でお客さまのシステムを運用することで、クラウドサービスのメリットに加え、リスク分散による危機管理対応や、事業継続性の強化にも役立てていただくことができます。

今後も日立は、情報共有基盤サービス Lotus Notes/Domino Editionにおいて、オプションサービスで提供しているスマートフォン連携に加え、タブレット端末のサポートや各種サービスメニューの拡充など、お客さまニーズに対応したサービス強化を図っていきます。クラウド移行による運用管理負担の軽減と、堅ろうなデータセンター運用による事業継続性の強化に、本サービスをお役立てください。

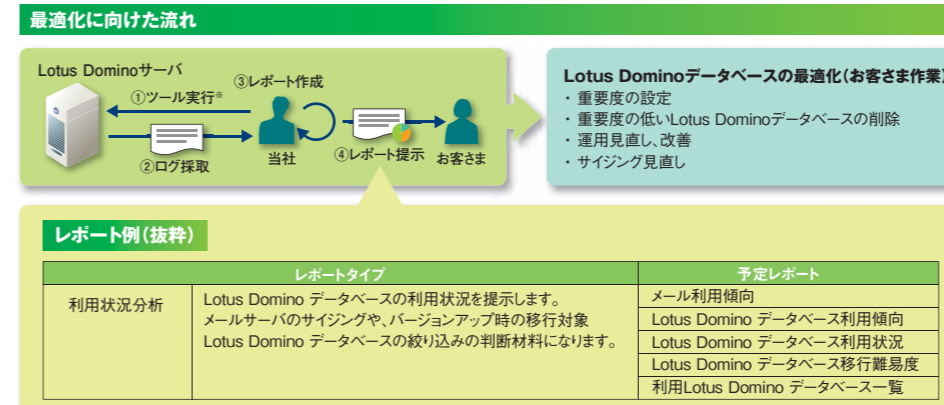


図3 月次レポートによるデータベース最適化サポート

お問い合わせ先

(株)日立製作所 ITサービス事業部
http://www.hitachi.co.jp/os-inq/

情報提供サイト

http://www.hitachi.co.jp/os/